



集う

学ぶ

伝える

結ぶ

起こす

大貫地区

公民館にゆ〜す

No.161

発行所：大貫地区公民館 大崎市田尻大貫字境 36-1 Tel. 0229-39-0308 Fax39-0383 ホームページ 検索 大貫地区公民館

大貫衆十壱組を視察に来館

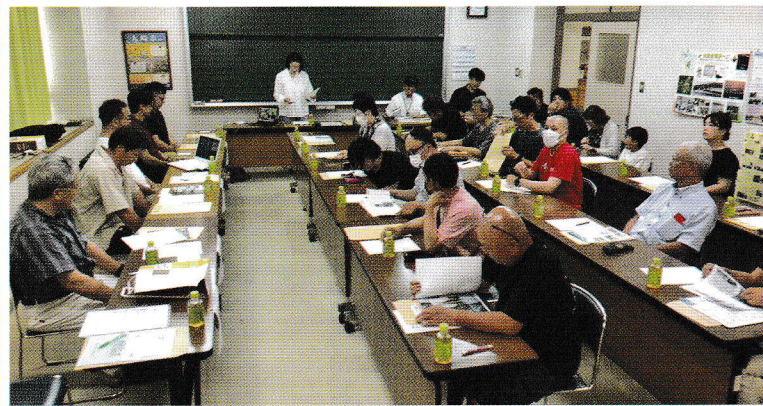
8月4日

大貫衆十壱組と大貫かんばんやま委員会の活動状況を視察するために「白石市の大鷹沢地区（人口1,800人戸数750戸）」のまちづくり振興協議会から20名ほどの方々がお出でになりました。

大貫衆十壱組の佐々木信哉元会長から、組織の立ち上げから現在の活動をスライドを使って詳しい説明があり、太田館長から、かんばんやま委員会の設立経緯や現在の事業の概要についてお話をしました。

質疑応答の中では、若者組織の立ち上げ手法やピアガーデンの運営についての関心が高かったようです。

その後、蔵楽で手打ちそばを味わい、「さくらっこ」に立ち寄り帰路につかれました。



左列：大貫側 右列：白石市大鷹沢地区の皆さん

第19回 大貫大運動会！ 9月8日



運動会プログラム表面

なかなか涼しくならない中ですが、恒例の大貫大運動会が大貫小学校の校庭で開催されます。

今年も6時30分の花火を合図に8時30分から開会式が挙行政されます。

豪華参加賞を用意していますので多数のご参加をお待ちしております。



昨年のかんばんやまりレーのスタート

マイナンバーカードお持ちですか？



マイナンバーカードは、本人の申請に基づいて交付され、個人番号を証明する書類や本人確認書類として利用できます。

そして、今年12月2日から現在の健康保険証は新たに発行されなくなり、「マイナンバーカード」が健康保険証の代わりとなる「マイナ保険証」制度になります。

大貫地域でも、まだマイナンバーカードをお持ちでない方が多数おられるため大崎市の市民課が大貫地区公民館に臨時の申請窓口を開設する予定です。

－臨時の出張申請窓口を開設予定－

5人以上の申請者がある場合に窓口を開きますので、下記の日時まで公民館までお申し込みを頂いた方に窓口開設の日程をご連絡します。



手数料は無料

※申し込みの締切り

令和6年9月10日午後5時まで
連絡先：大貫地区公民館 ☎39-0308

大蔵楽 "もってね〜市" 開催!! 10月13日
新田ノ目まつり実行委員会(須藤誠一会長)は、恒例の祭りに替えて、各家庭で眠っているお宝(売っから、買うがら、けっから、もらうがら、おさがり、おあがり)を一堂に集めてフリーマーケット「もってね〜市」を開催します。

新田ノ目地区にかかわらず大貫全地域の皆さんの出店と来場を呼び掛けています。開催日程・要領は下記の通り。やきとり、飲み物等をたくさん用意しています。

- 日時：令和6年10月13日(日)
午前9時開場 出店準備
午前10時～午後3時開店
- 場所：JAみやぎ大貫ふれあい店 駐車場
- 出店条件：どなたでも出店可。テントは持参
飲食物販売(漬物含)は保健所の許可証を掲示のこと
- 出展料金：1店舗 500円(当日徴収)
- 受付：令和6年9月15日 午後6時締切り
- 雨天中止：不安の場合は、受付まで☎して下さい。
- 受付、問合せ先：090-2362-2898(酒井)

なめくじの左まがりと右まがり 高野素十作 今を幸せと思わないと幸せになれない 松のせみどこまで鳴いて昼になる 小林一茶作



お盆の8月13日に恒例の「かんぼやま夏祭り」が開催されました。この夏祭りは、かつての大貫青年団が開催していた盆踊り大会を復活しようと大貫衆十壺組が中心となって始めた一大イベントで今年で15周年を迎えました。
だいかんしゅうといちぐみ

前日には、台風5号が岩手県に上陸して豪雨災害が起きましたが、宮城県内では比較的雨量が少なく、予定通り夏祭りを開催することが出来ました。会場の多目的広場には、若者たちや子供たちを中心に大勢が集まり、舞台あり出店あり抽選会ありの賑やかな一夜でした。

気温30℃を越す暑い中、準備や本番そして片付けに奮闘した大貫衆十壺組の皆様お疲れ様でした。



公民館講座「よさこい教室」参加者によるオープニング



開会式（かんぼやま委員会、佐々木会長あいさつ）



伊藤市長さんも遅れて登壇



よさこい飛龍'zによる華麗な演舞



提灯に灯りがともるところ、バカ殿が登場



中学生もお手伝い



出店も準備万端



焼きそば、かき氷、ガンガン炭火焼などなど



大抽選会開始



ピーク時の出店前は渋滞が続出



皆さん一緒に集いま Show



テーブル席で話が弾む

大鷹沢地区でもまちづくり活動に若者の参加が少ないという課題を抱えており先進地として大貫にお出でになったようです。どこの地域でも高齢化と人口減少の悩みを抱えています。そんな状況の中で地域に住み続けることの意味を見出そうとする努力は、ずっと必要だと思えます。「大貫衆十壺組」の存在や活動がいろんな波及効果を生み出していることに大きな感動を覚えます。

今回の訪問の目的は、大貫の若者グループ「大貫衆十壺組」の誕生の経過と活動状況とそれを支える「かんぼやま委員会」や「大貫地区公民館」の現状を研修することでした。

今この地域づくりを指導している遠藤智栄さんというアドバイザーが大崎市ともつながりがあることから、大貫地区を紹介されたそうです。そこでの地域づくりを指している遠藤智栄さんというアドバイザーが大崎市ともつながりがあることから、大貫地区を紹介されたそうです。

館長戯言 オモテ面で紹介しましたように、仙南の白石市からわざわざ大貫に視察にお出でになりました。同市の「大鷹沢」という地区は地理的にも人口規模でもほぼ大貫と似ている所のようなです。